

「夢・絆・志をともに育む学校」 くす星翔中学校

～群青の空の下 7校の思いひとつに～

地域の
特色ある
活動

大分県玖珠町教育委員会

1 玖珠町の概要

大分県の西部に位置する玖珠町は、九州一の河川である筑後川の上流に当たり、全国的にも珍しいメサ台地の山々に囲まれた、人口15,296人（令和元年6月30日現在）の町です。



2 町民全体の期待を背負った学校

くす星翔中学校は、平成31年4月に町内7中学校が統合して誕生しました。当初、統合については過疎化への危機感や生徒の通学安全に対する不安感などから反対の声もありましたが、町教委が主体となって議論をすすめる、最終的には各地域からの多くの賛同を得て統合が実現しました。



開校に向けては、開校推進協議会の下に5つの部会（開校準備部会・教育活動部会・施設部会・通学安全対策部会・コミュニティ・スクール部会）と生徒会・PTA各準備会が設けられ、地域代表・保護者・議員・教職員・生徒代表がそこに所属し、玖珠町行政とともに具体的な議論をすすめてきました。新中学校の基本コンセプト、校名、校歌、制服、学校施設、通学対策、校則、学校行事、学習のすすめ方、コミュニティ・スクールと

してのあり方など、ありとあらゆる議論が重ねられ、新中学校の骨格が創り上げられました。

3 時代のニーズに対応する教育を

経済を中心とするグローバル化、少子高齢化、情報化といった急激な社会変化の中、労働市場や産業・就業構造の流動化など、将来予測が困難な時代に向けた対応は、わが町にとっても切実かつ喫緊の課題です。だからこそ、新中学校では、統合された各中学校の文化や伝統を引き継ぎつつも、時代のニーズに対応する教育を大切にしました。

ハード面では、ICT教育の環境整備に重点を置きました。教室すべてに電子黒板を設置し、どの教科でもICT機器を活用した授業が展開できます。また、校舎内に幹線で光ケーブルを引くなどインフラ整備に力を入れており、学校敷地内のどこにいても、多台数接続しても高速通信ができる環境を作りました。



さらに、校舎内に情報掲示板（50インチTVモニター）を25台設置しました。教職員が連絡事項を伝える、学年目標や教科担任による折々のトピックの提示など、教職員、生徒会のアイデアで様々な活用がなされています。

町で雇用したICT支援員が学校に常駐することで、校舎内の多くのICT機器を有効に活用できています。



また、グローバル社会に対応できる人材育成のために、英語に特化した学習教室「English Cafe」を設けました。「Cafe」ですから、誰でも・いつでも気軽に立ち寄れるよ



うな工夫が必要です。そこで、ALTを町独自で雇用し、常時在室してもらっています。ここ

では、コミュニケーション手段として英語のみが使用され、世界に目を向けたくなるような掲示物や情報で溢れています。ALTが常時教室にいますので、休み時間や放課後になると、学年関係なく多くの生徒が「English Cafe」を訪れ、ALTとの会話やカードゲームなどを楽しんでいます。このような環境の中でこそ、自然とグローバルな視点で思考できる生徒が育まれていくと信じています。

4 ユニバーサルデザイン化された校舎

くす星翔中学校は、新築の校舎ではなく、高校再編に伴って廃校となり、空き校舎となった高等学校既存校舎の改修工事によるものです。したがって、制限や限界はあるものの可能な限りのバリアフリー化に取り組みました。多目的トイレの各階設置、ユニバーサルデザインの視点に立った教室環境整備や上履きで自由に行き来でき、活用において自由度の高い中庭デッキ、ストレッチャーが入るエレベーターの設置など、新築と遜色ない校舎建築を行いました。



5 コミュニティ・スクールの深化・充実

本町では平成23年10月の玖珠中学校を皮切りに、小学校5校・中学校4校にコミュニティ・スクール（以下CSという）を導入してきました。7年間の取組により、学校・家庭・地域が同じベクトルで「当事者意識」をもって学校経営に参画することができるようになってきました。

新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現が大きな柱として位置付けられています。旧中学校区単位での地域とのつながりの中で行われてきた目標協働達成の取組をベースとしながら、玖珠町全体を地域と見立て、新たな形での連携や協働を実現していく必要があります。

幸いにも、近隣には玖珠郡唯一の県立高校である「玖珠美山高等学校」が存在し、九州では一番最初にCSを導入して取り組んでいます。小・中・高が一体となって地域に密着した系統的なキャリア教育の実践を行っていくなど、玖珠町だからこそできる取組をより深化・充実させていきたいと考えています。

6 おわりに

町民全体の期待を一手に背負ったくす星翔中学校の開校は、玖珠町教育委員会にとりましても、一つの大きな節目であり、新たなスタートでもあります。私たちは、72年間の長きにわたって築き上げてきた町内7つの中学校のそれぞれの歴史と伝統を礎に、輝く子供たちが、校名の如く、夜明け前の群青色の空から翔けていけるよう全力で支援するとともに、「社会の中で自立して生活できる生徒」の育成に向け、今後もより一層教育行政の推進に取り組んでまいります。



教育長
秋吉徹成